

消防志と消防手に

感謝・敬礼!

鎌田 修広

株式会社タフ・ジャパン 代表取締役

感謝・敬礼

約三〇年前の二月に東京消防庁からの採用内定をお断りしてから、まさかこのような出番をいただくとは夢にも思いませんでした。当時の関係者には心からお詫び申し上げます。

私は元消防志、現在は起業して全国消防職団員一〇〇万人の応援団長の一人です。

一八年間の現役時代、全国各地の悩める消防関係者と数多く出会ったことがきっかけで、心・体・人間関係の悩

みを支えたい。残りの人生を消防業界

への恩返しに捧げたい。日本の備えに貢献したい！ウザイくらい熱い想いで全国を飛び回り、昨年の移動距離は地球一周（約四万km）でした。

実は上司に退職届を提出したのが三月七日（消防記念日）そして四日後に「東日本大震災」。多くのヒト・モノ・コトを失った出来事でもありました。

『孤塁』*によると、福島県原発を管内とする消防本部では、怒号が飛び交う中で極限状態の「さよなら会議（家

かまたのぶひろ さん



一九六九年生れ、横浜市出身、日本体育大学在学時はトライアスロンクラブを設立。五〇種のアルバイト経験を生かし社会人一年目でトップセールスマン達成。その後、消防学校の体育教官を目指して横浜市消防局に入局。二〇一一年に独立し、株式会社タフ・ジャパンを設立。現在は総重量二〇kgのスーツケースを持ち、「心と体、人間関係、防災・減災、組織づくり等」の本質を魂で伝えるために年間約二〇〇回全国各地へ出張中。

族や友人にその場で遺書を書き始めたこと」が行われました。皆さんも想像を絶する現場で心を麻痺させ、感情に蓋をしながら活動するケースなど壮絶な体験をされていると思いますが、人を救うためにたくさんの矛盾を抱え、理想と現実の狭間で目の前の命に全力で向き合う姿には、本当に心の底から感謝・敬礼の気持ちでいっぱいです。

消防志

東日本大震災後、印象深いのが岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」。七万本を誇る名勝高田松原は、壊滅的な打撃を受けながらも奇跡的に一本だけ残りました。その理由は

「根」だったのです。高さ二・四m、長さ一三m、この「根」が放つ強い存在感と生命力は、消防業界の明るい未来を考える上で、組織づくりの根幹を表し勇気を与えてくれるものでした。東京消防庁は一万八〇〇〇人強の規模を誇る世界最大の消防組織です。組織づくりは根が命、消防志の「志」に込めた「心」の部分が「心根」を表し、根がしっかりとした基盤だったからこそ創刊も一〇



「奇跡の一本松の根展」で撮影

「消防志 鎌田修広」と記載していたのです。

消防手

「消防士」↓自治体消防移行前は「消防手」だったのです。手に負えないよ

令和という元号に込められた意味は「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」のはずでしたが、新型コロナウイルスが世界中で感染するなど不安なスタートから始まり、消防

山形市消防本部で撮影



〇年続いたのだと思います。私は「志」という字が好きで息子にも命名。もう時効かもしれませんが、実は現役時代に作成していた名刺には

うな大きな火災を消し止めるプロフェッショナル集団と位置付けられていました。野球選手や運転手のように「消防職人」「火消職人」のような意味を込めて呼ばれていたようです。

繋がる「災強（災害に強い）の日本組織」を妄想しながら、今後も応援団長として皆さんに熱いエールを送り続けたいと思います。

（※）孤塁：『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』（岩波書店）